



就労支援とネットワーク

世田谷区立

知的障害者就労支援センターすきっぷ

施設長 宮武秀信



本日の内容

◎すきっぷの就労支援システム

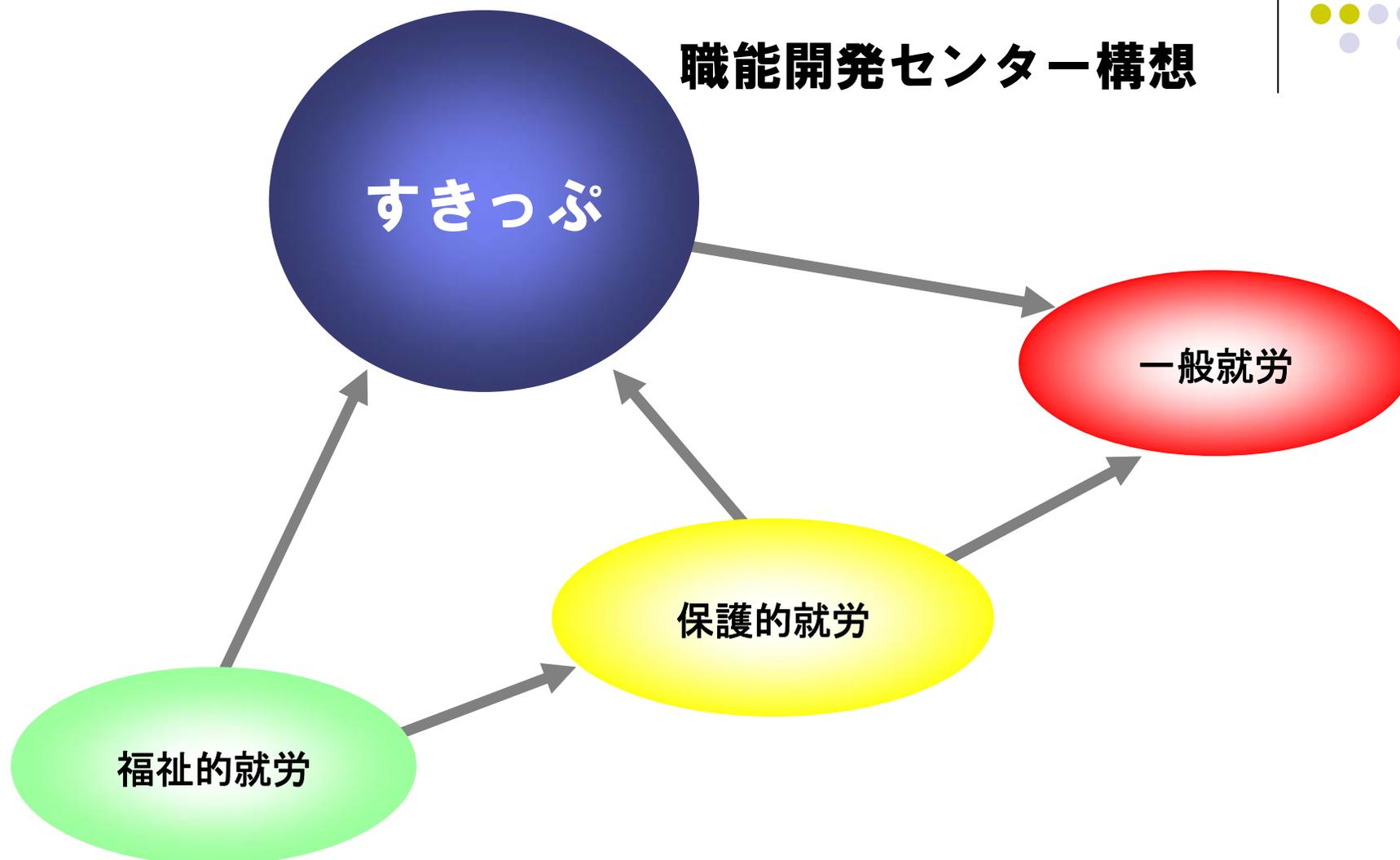
◎地域でのネットワークの形成

◎もっと働ける社会に

すきっぷ開設の経緯と施設機能



職能開発センター構想



すきっぷは授産施設＋就労支援



施設内での支援

2年間

施設外での支援

授産作業

体験実習

就労支援

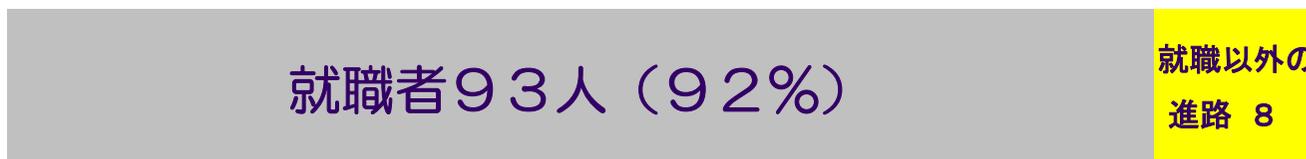


すきっぷの進路状況

H10.4~H17.12.21

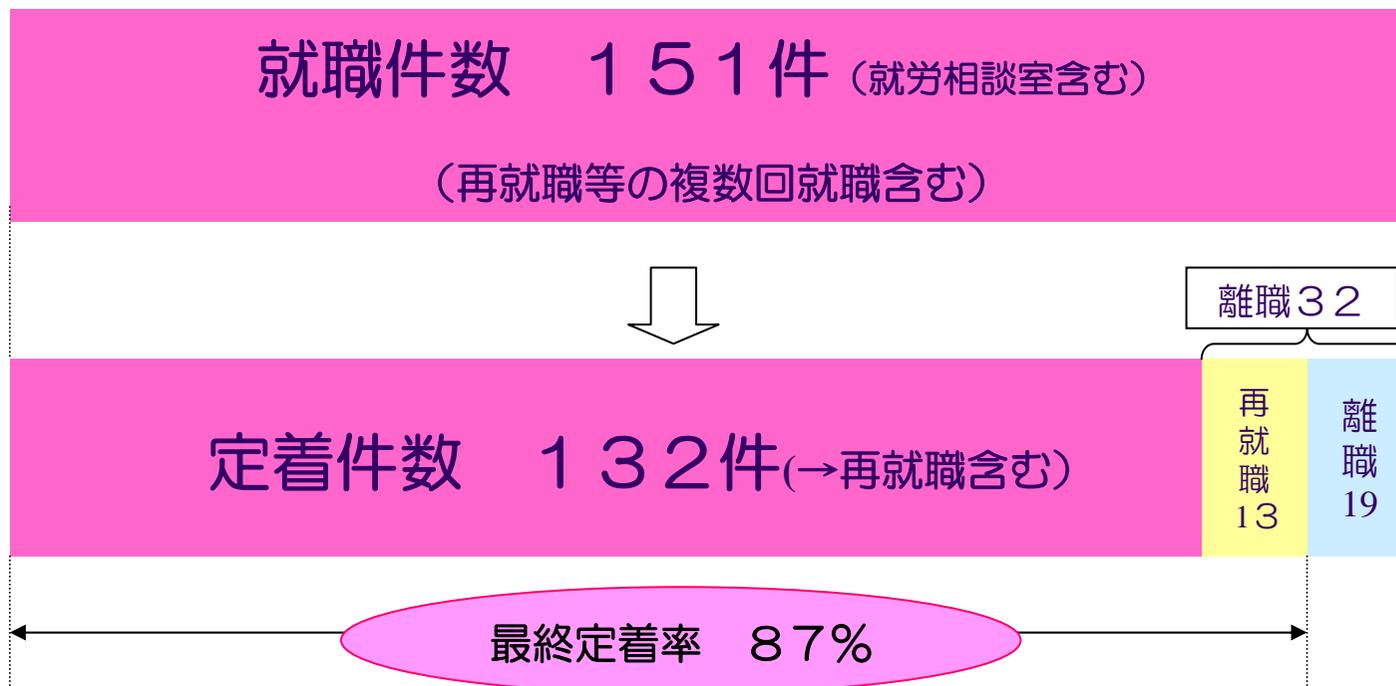


通所部門



利用終了者 101人

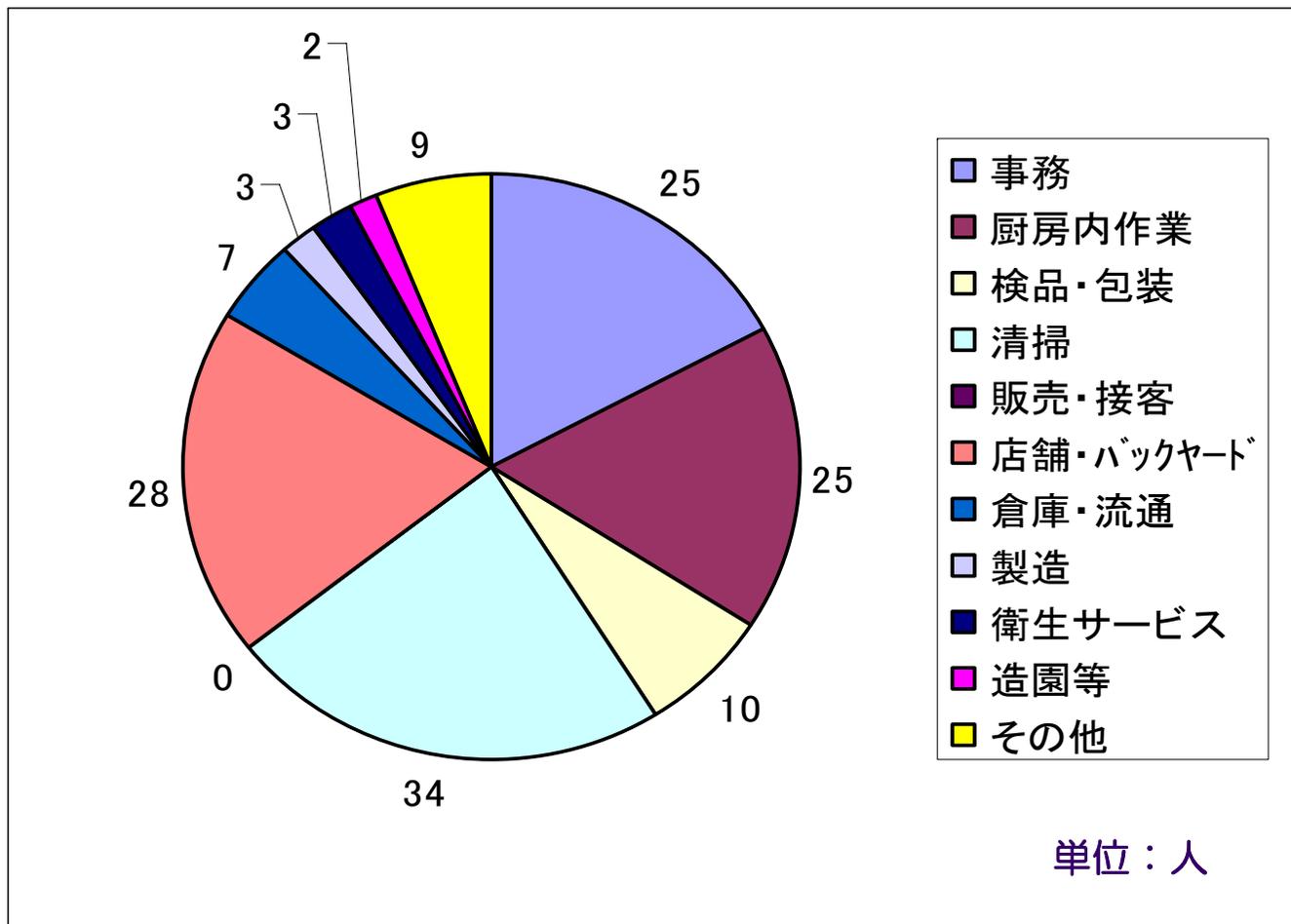
通所部門+就労相談室



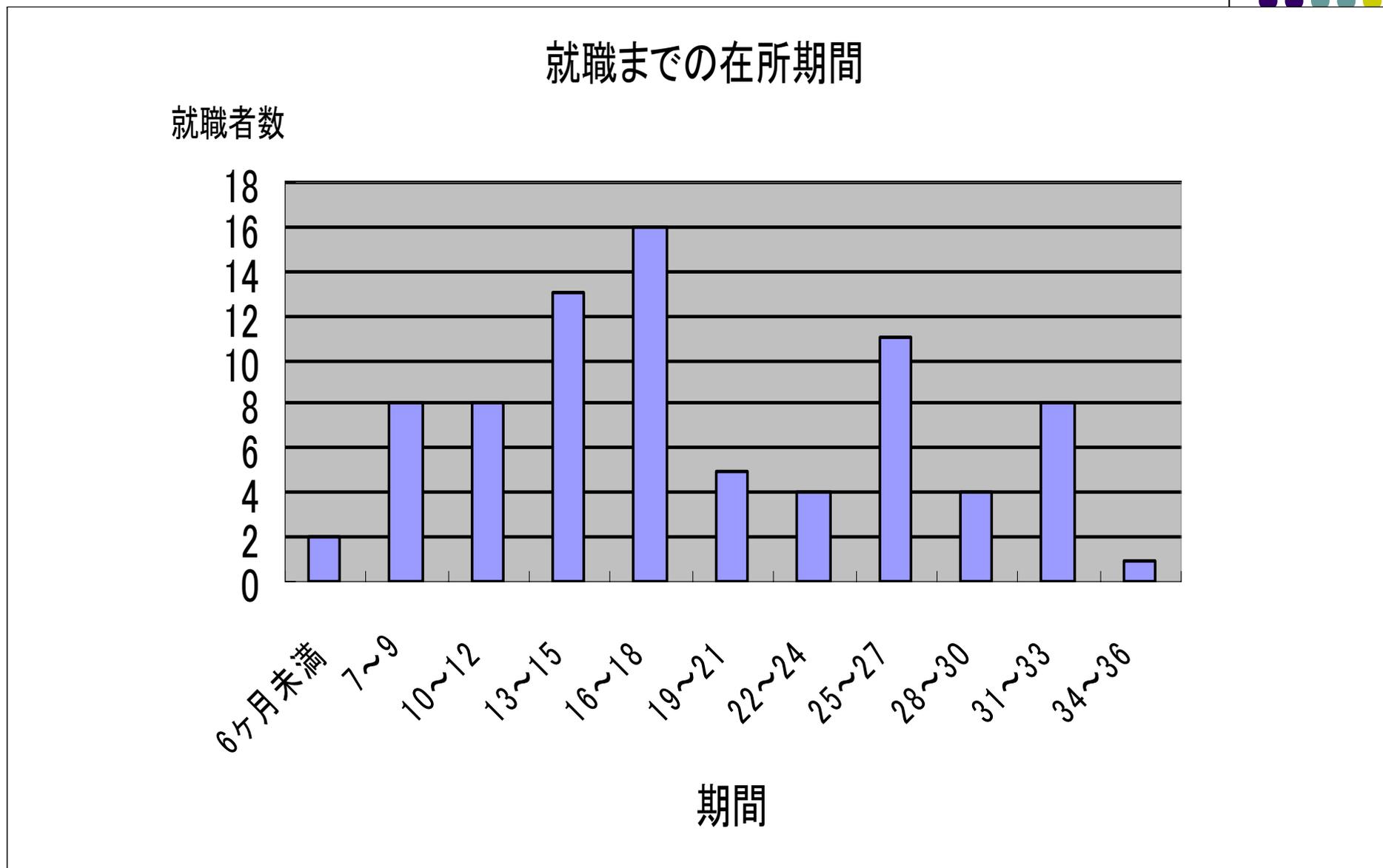
就職者の仕事内容は...

職種と就職者数

・平成17年10月末現在
・就職件数：146件



在所期間と就職の時期



* 1年経過後に面接・実習を行い、1年半頃に就職というケースが多い。

* 新卒者など、ゆっくりと訓練・求職活動を行なう人は、2年経過し、2年半頃就職。

すきっぷ入所者の状況



- 利用者の職歴

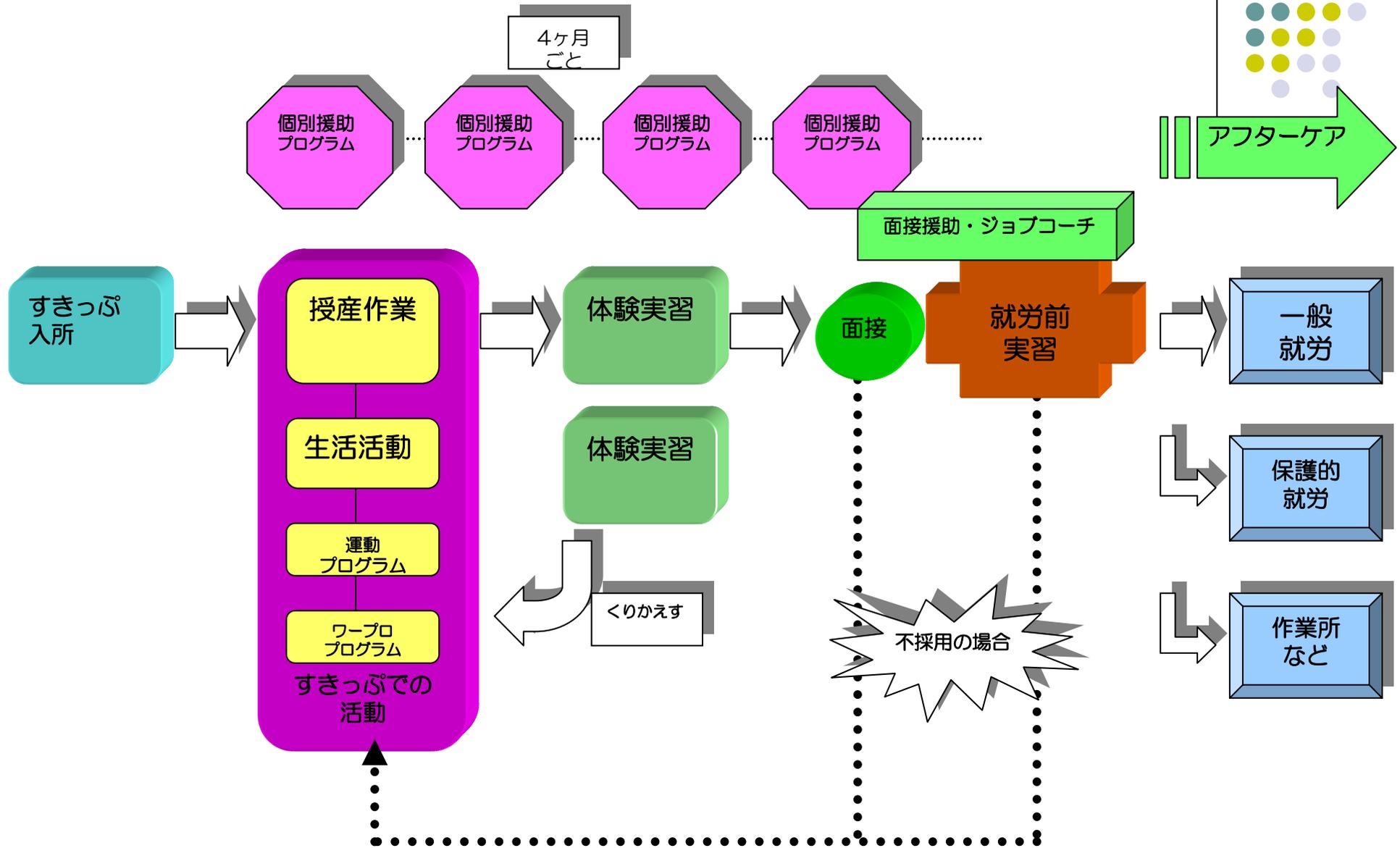
あり 37% なし 63%

- 入所経路

養護学校	33%	作業所	5%
普通高校	13%	総合福祉センター	3%
大学	3%	在宅	13%
その他の学校	3%	離職在宅	10%
		保護的就労	3%
		その他	12%

- 養護学校入所者 33名 うち31名就職(94%)

すきっぷの生活の流れ



すきっぷの授産作業

クリーニング

老人ホームのリネン類の洗濯

- ・ 1日6時間の立ち作業
- ・ 協働作業

2つの作業の特徴を相互に活用

印 刷

オフセット印刷機による封筒印刷
パソコンでの名刺作成

- ・ 細かい検品作業
- ・ 単独作業
- ・ PC技術の習得







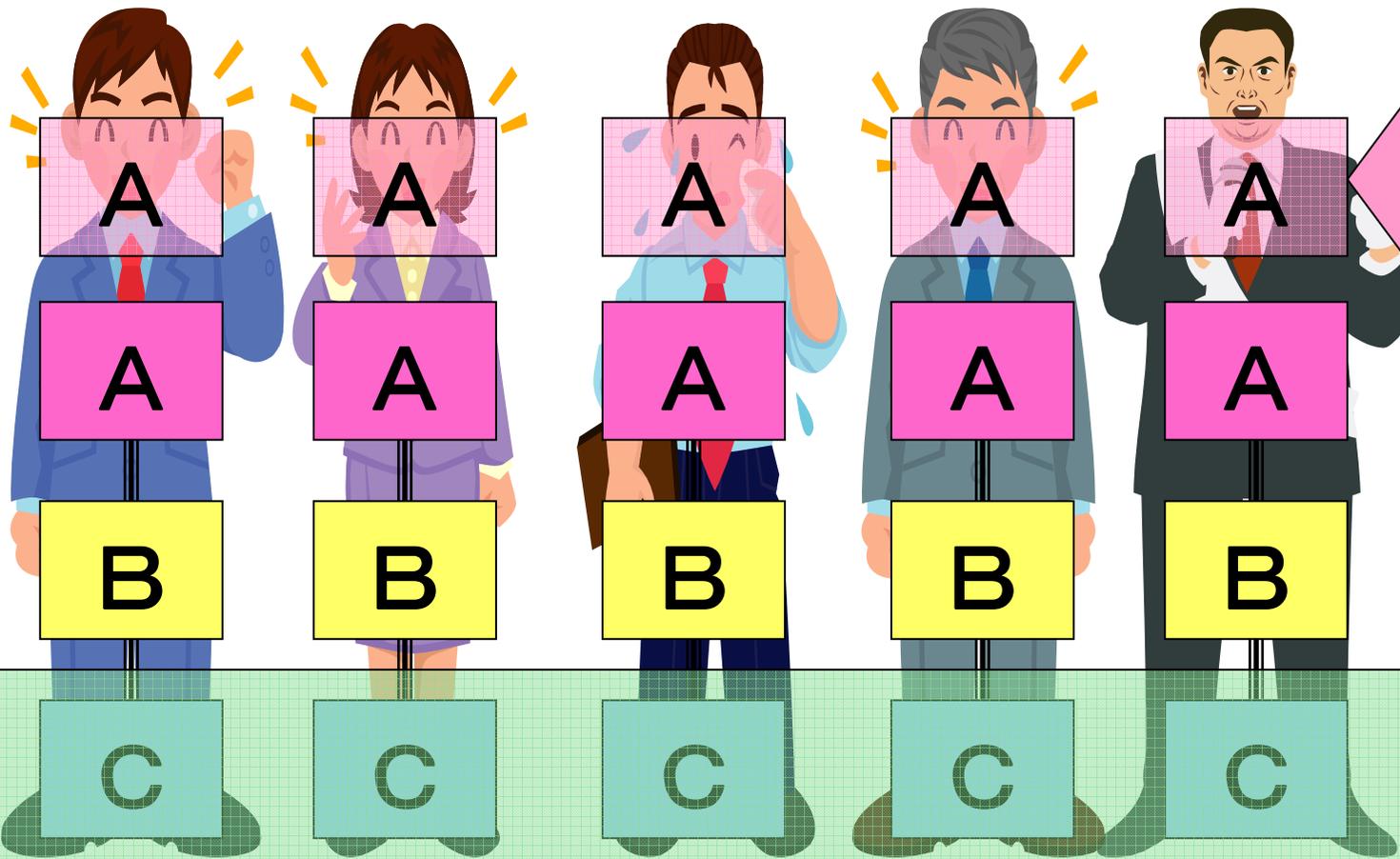
- 1. 業務のコーディネート**
- 2. 環境への適応（定着）支援**
- 3. ナチュラルサポートの形成**

業務の切り出し

業務の細分化と再構成

効率・コスト

想定業務



新たな
高付加価値業務

得意な業務で
切り出す

障害者

新しい業務

職員試行

事前訓練



事業所の概要

- N株式会社 精密機器加工業
従業員6941名(東京本社273名)
- 本人の職務
 - ・東京本社(雇用未経験)総務課所属
 - ・メールの受発信(宅配便の届け)
 - ・食堂ホールのメンテナンス
 - ・その他諸雑務



「わからない」の負担感・「判断業務」
(メール仕分け業務の例)



判断業務

会社あて

差出人一覧

個人あて

社員名一覧

わからない

70%

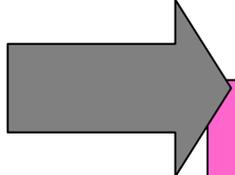
課がない

部署変更一覧

わからない

30→5%

社員へ



1日の時程

空き(手隙)の時間への対処



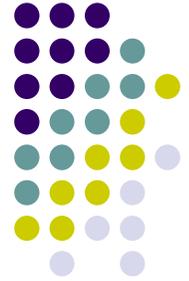
9:00	社内便仕分	
10:00	郵便受取り・仕分け	
11:00	食堂のテーブル拭き 調味料、お茶セット等	食堂業務
11:20	社員名一覧等名簿メンテ、封筒貼り、他	
11:50	休憩・昼食	事務的作業
12:30	食堂の片付、湯呑洗い 灰皿、テーブル掃除等	食堂業務
14:00	郵便発送／受取・仕分け	
14:20	封筒貼り、用紙補充、他	
15:00	休憩	
15:15	社内便発送準備	事務的作業
⇒		
17:25	業務終了	



地域でのネットワークの形成

- ネットワークとは

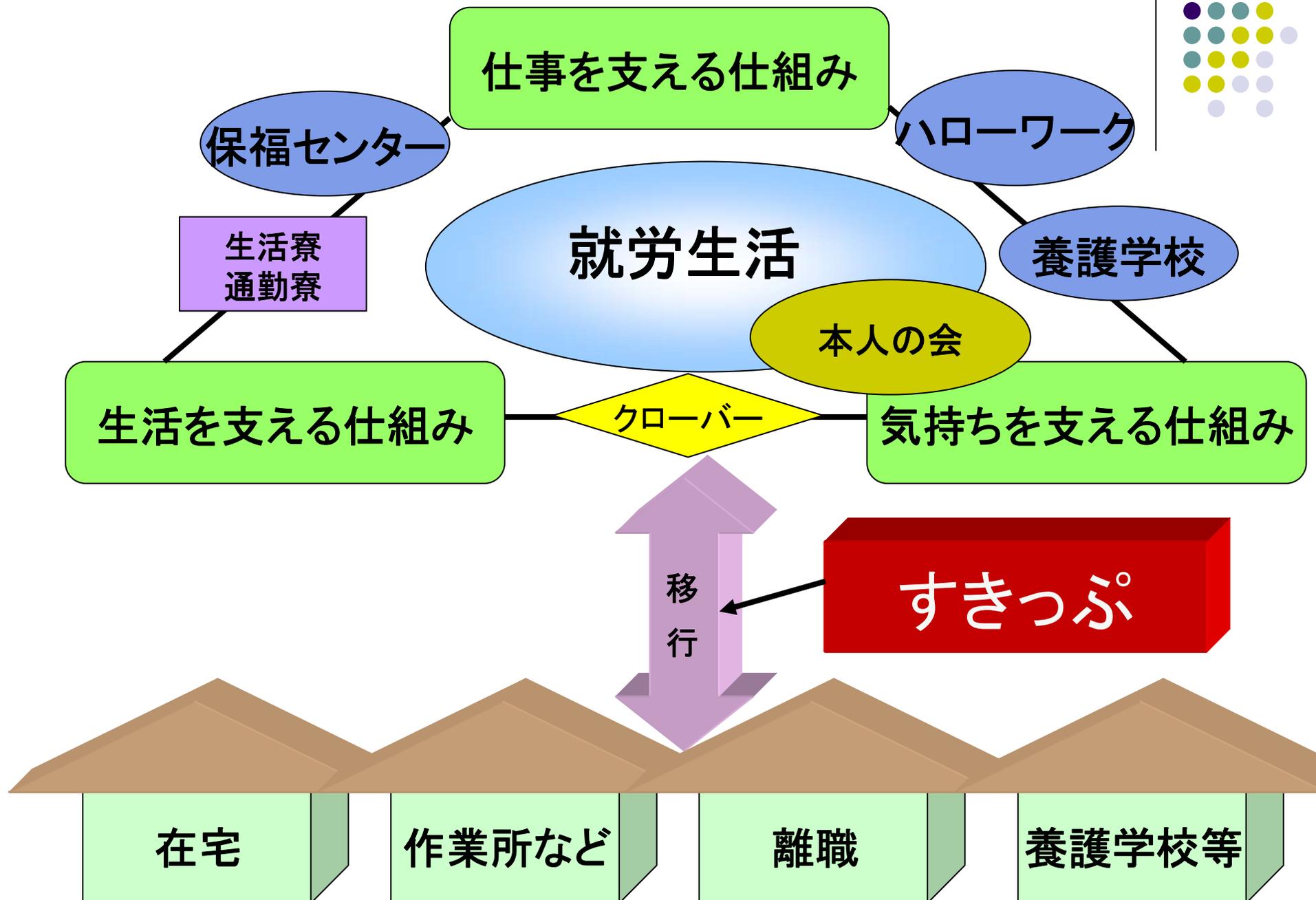
ネットワークとは基本的には各々が持っている資源(機能・役割)の相互利用のための方法であり、自己のもつ限られた範囲での支援能力や効果を、他を利用してさらに高めていくこと、同時に単なる利用関係ではなく、「共に」という連携(連帯)意識によって成り立つもの。

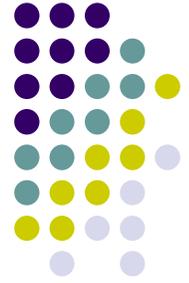


入所者の離職理由

- 会社都合 30%
- 不適応(精神面) 26%
- 人間関係 26%
- 業務不適応 9%
- 本人都合 6%
- 業務劣悪 3%

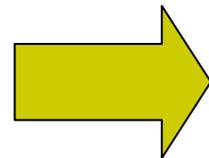
就労生活を支えるネットワーク





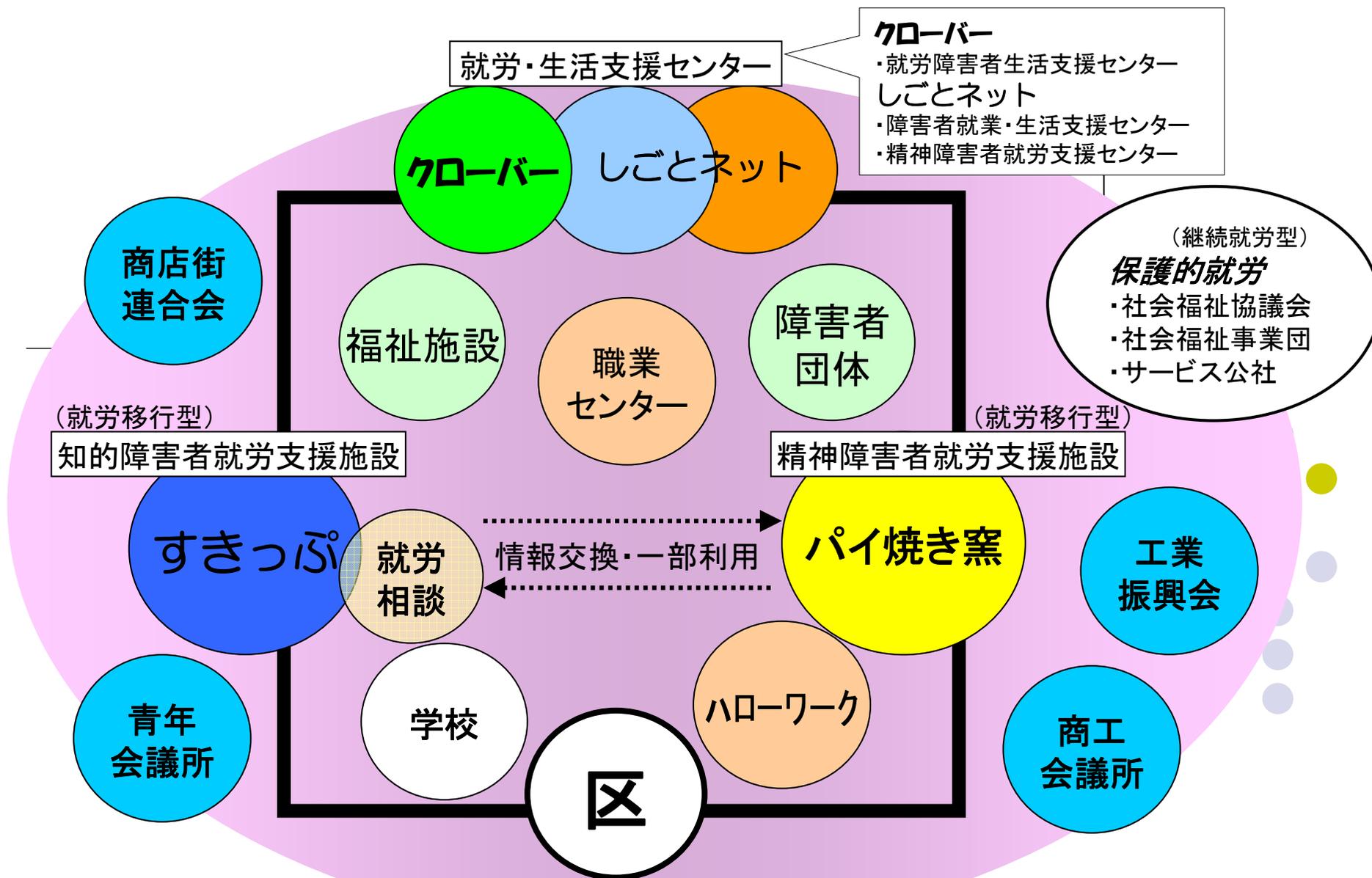
ネットワークの二つの方向

- 雇用促進
- 離職防止(職場定着支援)



地域支援ネットワーク

雇用・就労に関わる地域支援ネットワーク (世田谷モデル)



世田谷区障害者雇用促進協議会

世田谷区障害者雇用促進協議会



- 設置の趣旨

地域の商工団体、養護学校、ハローワーク、就労支援施設等障害者の一般就労に係わるすべての関係機関、団体等の連携により、地域における障害者雇用（一般就労）の促進をはかる。

- 事業

- (1) 障害者雇用の理解・啓発に関すること。
- (2) 障害者雇用の支援に関すること。
- (3) 障害者雇用の調査並びに研究に関すること。
- (4) その他雇用促進に関すること。



世田谷区就労支援機関連絡会

- 目的

各支援機関が、今後の障害者就労の課題に向けて連携強化し、障害者就労の促進を図ると共に、就労障害者のより安定し充実した地域生活支援のためのネットワークを構築する。

- 内容

- ・ケース事例によるネットワークの検討
- ・世田谷区就労支援の今後の課題
- ・他区との連携検討など

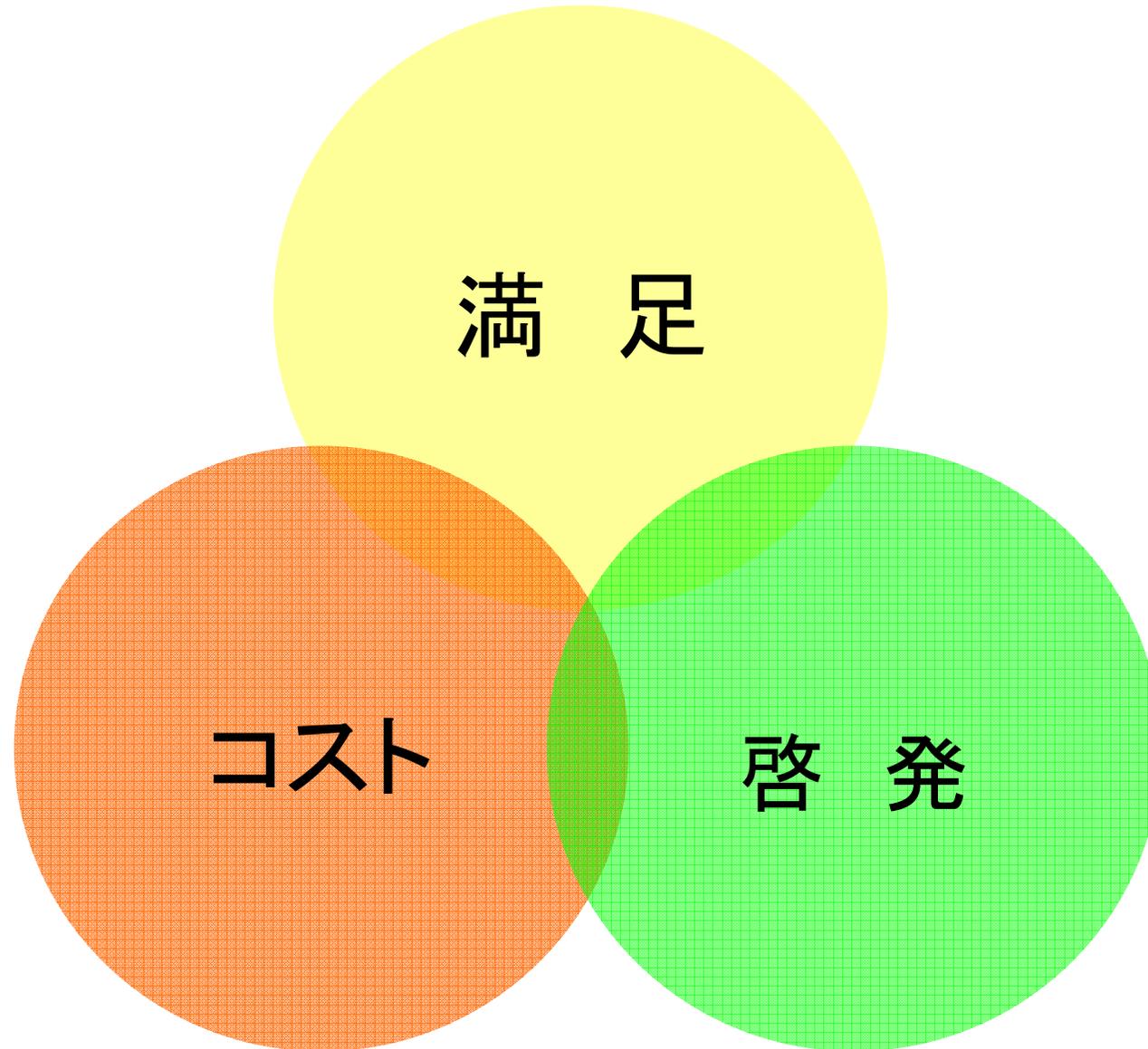
もっと働ける社会に

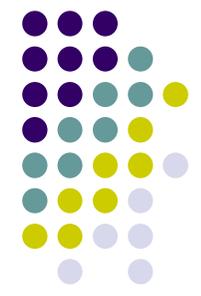


チャンス到来！

- 知的障害者の雇用の義務化
- 産業構造、職種、雇用形態の変化
- 企業の社会的責任（CSR）と法令遵守
- 就労支援事業の拡大
- 20世紀モデルから21世紀モデルへ、「共に」

「就労(雇用)」を通しての3つの実現





新しい就労支援システムの挑戦

こうすれば
働ける!



授産施設から企業へ

世田谷区立
知的障害者就労支援センター
すきっぷ 編

エンバウメント研究所

ありがとう
ございました。